

“えごま鴨”の販売に奮闘！ 事業に兆し見える

市原ファーム／川本町商工会

- 業種 農産物生産加工販売業
- 住所 島根県邑智郡川本町南佐木343
- 電話番号 (0855) 74-0578
- ホームページ

市原ファーム

<https://iwamigamo.com/>

鴨肉をネットでも好評販売中!!



私は

『 専門家派遣事業 』

を活用しました！

父からの一本の電話で当時所属していた自衛隊を退職してUターン。近所で放棄されそうになっていた果樹園を譲り受けた父とともに果樹栽培を始め、地元のつながりで鴨の飼育にも着手。現在は鴨農家を営む。令和3年には川本町の認定農業者となり、商談等各所から声をかけてもらう機会も増えていることから、「注目されているという実感があります」と話す後継予定者の市原利成さんにお話を伺ってきました！

取り組みのきっかけはなんですか？

鴨農家として生計を立てるためにヒナの飼育に注力する一方で、販売面が弱く、思うように肉が売れない状態で、資金的にも厳しい状況となっていました。収益確保が大きな課題であることから、販路の開拓と自社のブランディングについて、川本町商工会へ相談することにしました。

商工会からどのような支援を受けられましたか？

商工会の大畑さんと、現状および課題の事前整理を一緒に行った上で、当事業を活用させて頂きました。専門家からは「お中元」や「お歳暮」の売り出しとして、セット内容や金額設定、PRのためのチラシ作成に至るまでご指導を頂き、当社にとって新たなチャレンジとなりました。

取り組みの成果・効果を教えてください！

売上の獲得に向けて動き出すことができたと同時に、“自社の商品が売れる”ということがわかったことで自信にもつながりました。徐々に、自社の鴨の良さが周囲へ伝わり認知度も上がってきているものの、やはり、「鴨は季節商品」というイメージが消費者の中にはあることから、今後は季節を問わず通年で売上が獲得できるよう商品の開発やネット販売、PR手法も工夫して収益を確保していきたいと考えています！

大畑 英徳（経営指導員）

毎年少しずつ売上が伸びており、市原さんの日頃の努力の成果が数字に表れています。このまま順調に進み、事業を軌道に乗せることができるよう、商工会としてお手伝いできればと思います。



市原 利成さん（後継予定者）

さらに売上を上げていくためにはまだ課題がありますが、それを相談できる場として商工会の存在はとても大切で、「よし、やってみよう」というモチベーションにもなりますので、これかもよろしくをお願いします！